

## 郵便による投票



郵便で投票する場合、有権者がすでに選挙人登録を行っていれば、身分証明書の提出は必要ありません。有権者が選挙人登録と投票を郵便で同時に行う場合は、身分証明書として認められた書類の写しを必ず投票パッケージに添えて提出してください。

有権者が身分証明書として認められた書類がない場合は、保証人が必要です。保証人の正式な宣言には、選挙管理委員、弁護士、もしくは宣誓供述書の作成権限を持つ宣誓管理官が立会う必要があります。

保証人は、身分証明書として認められた書類の写しを必ず投票パッケージに添えて提出してください。（「本人であることを保証してもらう」の項を参照のこと）

---

## 身分証明書(ID)を 用意して おきましょう

---



**ELECTIONS BC**  
A non-partisan Office of the Legislature

お問い合わせは  
Elections BCへ

フリーダイヤル: 1-800-661-8683  
(北米内のみ)  
TTY: 1-888-456-5448

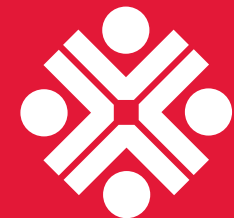
郵送先住所:  
PO Box 9275 Stn Prov Govt  
Victoria BC V8W 9J6

Tel: 250-387-5305  
Fax: 250-387-3578  
フリーダイヤル Fax: 1-866-466-0665

Email: [electionsbc@elections.bc.ca](mailto:electionsbc@elections.bc.ca)  
Website: [www.elections.bc.ca](http://www.elections.bc.ca)

**3009** (16/11)  
[Japanese]

# 投票には 身分証明書が 必要です



**ELECTIONS BC**  
A non-partisan Office of the Legislature

# 州選挙の選挙人として 必要な身分証明書 (ID)

選挙で投票するとき、または選挙時の選挙人登録をするときに、選挙人の身分証明と現住所の確認が必要です。

## 選挙人の資格

- 一般選挙投票日当日に18歳以上であること。
- カナダ国籍を有すること。
- 過去6ヵ月間BC州に居住していること。

## 選挙人の身分証明

投票用紙を受け取る、または投票時に選挙人登録をする場合、選挙人の身分の証明と住所の確認が必要です。

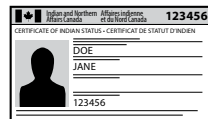
選挙人は必ず次のいずれかを提示してください。

- 選挙人の氏名、写真、住所が記載されている州政府もしくは連邦政府発行の書類を1通。例えばBC州運転免許証、BCサービスカード、またはBC州身分証明カード(BCID)



または

- 先住民ステータス証明書



または

- 選挙人の氏名が記載されている書類を2通。このうち1通には必ず選挙人の住所が記載されていること。

選挙管理委員長が身分証明書として認定している書類は、下記のとおりです。

## 政府発行の身分証明書類

(例 BCケアカード、出生証明書、ソーシャルインシュランス(SIN)カード、パスポート、市民権書類 / 証明書など)

## そのほかの政府発行の書類

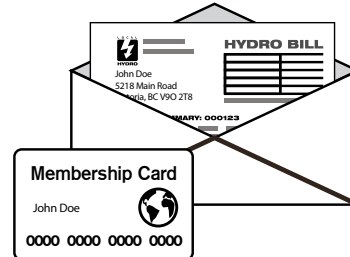
(例 固定資産税評価書、所得税評価通知、政府発行小切手)

## 学校/カレッジ/大学発行の書類

(例 入学許可書、通知表、成績証明書、入寮許可書、授業料・諸費用明細書、学生証)

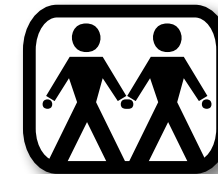
## そのほかの書類

- バンクカード / クレジットカードまたは明細書
- 住宅賃貸契約 / 住宅ローン明細書
- 保険明細書
- 公共交通定期券
- 光熱費請求書
- 会員カード
- 病院発行の本人証明用ブレスレット / 書類
- 住所確認書 [Confirmation of Residence] (3007)
- BC州の投票所入場券 [Where-to-Voteカード] (選挙人の氏名が記載されているもの)
- 個人小切手
- 法定宣誓書



## 本人であることを保証してもらう

有権者が必要とされる身分証明書を持っていない場合、保証人に本人であることを保証してもらうと選挙人名簿に登録でき、投票することができます。



保証人は必要な身分証明書類を提出できることが義務付けられており、次のいずれかに該当する人になることができます。

- 同じ選挙区内で選挙人として登録されている者
- 選挙人の家族 — 配偶者、親、祖父母、成人した子供、孫、兄弟姉妹のいずれか
- 保証が必要な有権者について、身の回りの介護の決定に関する法的権限を付与されている者

有権者並びに保証人両者ともそれぞれが、当該有権者の身分証明と住所に関して正式な宣言を行うことが必要です。

保証人が有権者の親族ではない場合、または身の回りの介護に関する権限を付与されていない場合は、有権者1人に対してだけ保証人となることができます。親族は、家族であれば複数の有権者の保証人になることができます。身の回りの介護に関する権限を付与されている人は、権限書に記載の有権者全員の保証人となることができます。

保証をしてもらった有権者は、当該選挙で他の有権者の保証人にはなれません。



**ELECTIONS BC**  
A non-partisan Office of the Legislature